

なつ休み

2



いめんね

田原 高松小・2

ひろなか とわ

わたしはたまに
ぶつだんにチーンとして
手を合わせるよ

ここには
お父さんの しんじやった
おじいちゃんとおばあちゃんの
しんじが かざってあるよ

おぼんはね
しんじやった人が
家に帰ってくる日なんだって

わたしはおぼんに
いつもどおり
ぶつだんにチーンとして
「大きいおじいちゃん、おばあちゃん、
帰ってきていますか。」
って聞いたよ

夕方から 今どは
お母さんの しんじやった
おじいちゃんとおばあちゃんが
帰ってくる家に行くことになったよ

わたしはおかあさんに
「お父さんのおじいちゃんとおばあちゃん
もいっしょにつれていこう。」
と語ったよ

車にのるときには
二人ののる場しよも
あけてあげたんだ

ついでから
お母さんのほうのぶつだんにも
チーンと手を合わせて
みんなを会わせてあげたよ

わたしもいこと
いっぱい食べたり
あそんだりしたよ

あつという間に
帰る時間になったよ
車にのって
ちよつとして

「あ、おじいちゃんとおばあちゃん、
わすれてきちゃった。」
ってさげんだよ

それを聞いて
みんなわらっていたよ

ちよつと心ばいな
おぼんになつちやっただけ
これから

ぶつだんにチーンと手を合わせるよ

おじいちゃん、おばあちゃん

わすれちゃって

ごめんね
来年も帰ってきてね
まってるよ



文詩集『みかわの子』第63号より

おうちのかたへ

子供たちが、待ちに待った夏休みに
なりました。

長期の休みでなければ手がけること
のできない継続観察などの貴重な体験
は、おうちの方々の適切な助言や心づ
かいによって、いっそう効果を高める
ことができます。

無理のない計画を立て、夏休みの過
ごし方を親子で一緒に考えてください。

表紙の絵は、令和七年度「みかわ
彩発見絵画コンクール（春・夏の部）」
最優秀賞 岡崎市立六ツ美北部小学校
二年 中村 陽希さんの作品『大きい
カブトムシ みつけた!!』です。

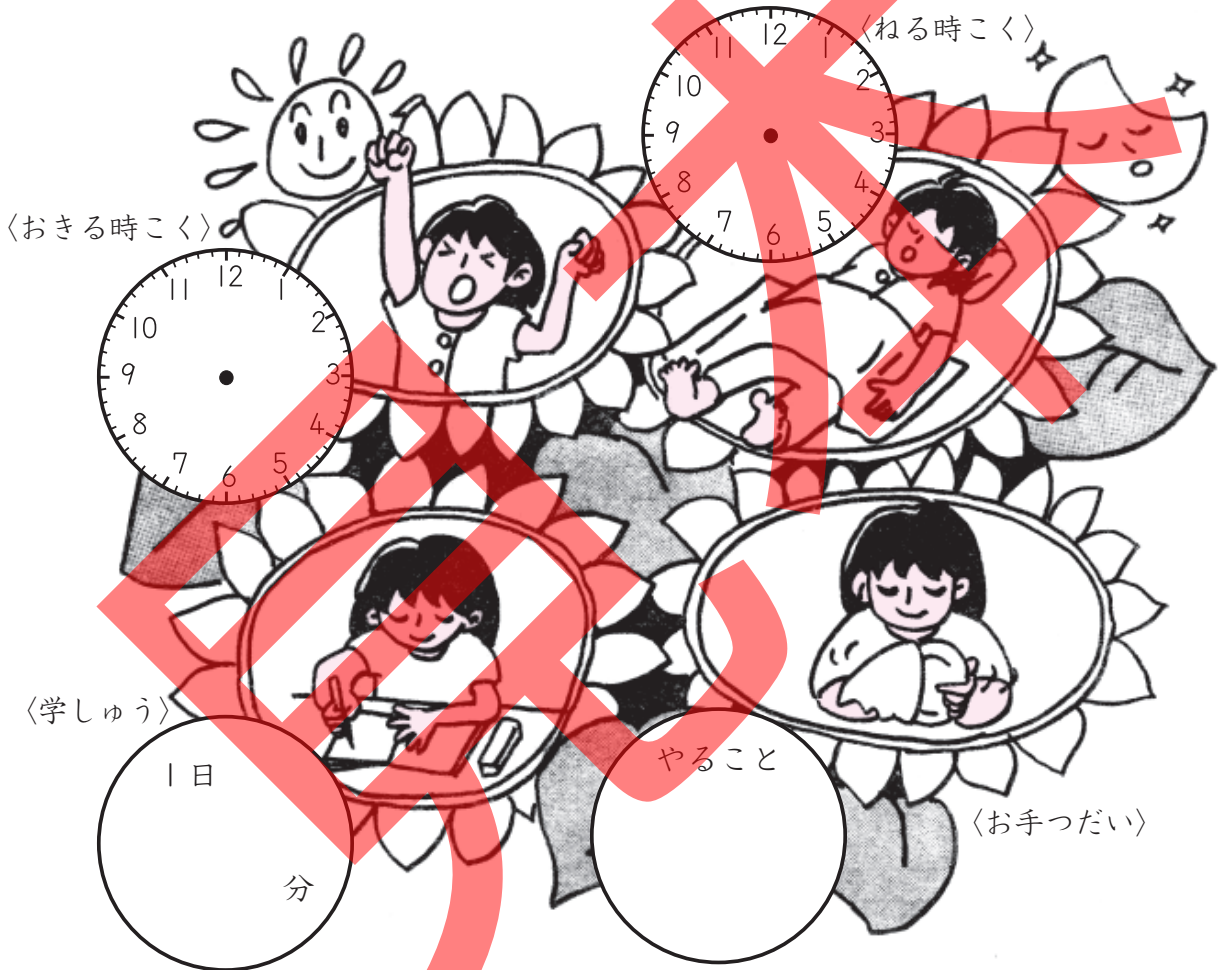
月 日 よう日

たの

楽しい なつ休み

いよいよ きょうから なつ休みです。楽しい なつ休みにするために、きそく正しい 生活を しましょう。

★ あなたの 一日の 生活を とけいに 書き入れましょう。



★ なつ休みに がんばりたい めあてを 書きましょう。

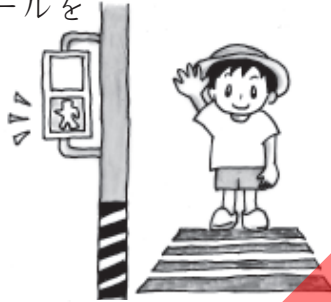
《学しゅう》

《生活》

なつ休みの生かす

※読んだら □に ○を つけましょう。

☐ こうつうルールを
まもろう。

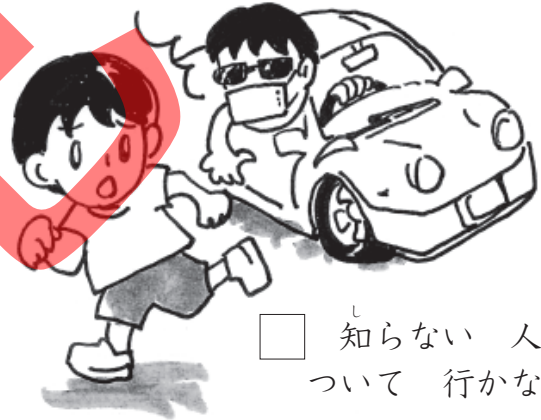


☐ 花火は 家の
人と やろう。



☐ ゲームは 時間を
きめて やろう。

☐ 食べすぎ
のみすぎに
気を つけ
よう。



☐ し 知らない 人に
ついて 行かない。



休み中に びょう気や けがを すると、
たの 楽しく ありませんね。上の ことに
気を つけ、たの 楽しい なつ休みに しま
しょう。



かん字の読みよう

よう日

一

おくりがなに

気をつけて、れいの

ように かん字に

なおしましょう。

(れい)

よむ

.....

読む

日

月

(1)

あたる

.....

(2)

わかる

.....

(3)

かんがえる

.....

(4)

すくない

.....

二 かん字の 読みを 書きましょう。

(1)

人間

(3)

点線

(5)

学校

(7)

小川

(9)

大人

(11)

教科書

(2)

画数

(4)

外国

(6)

正門

(8)

一日中

(10)

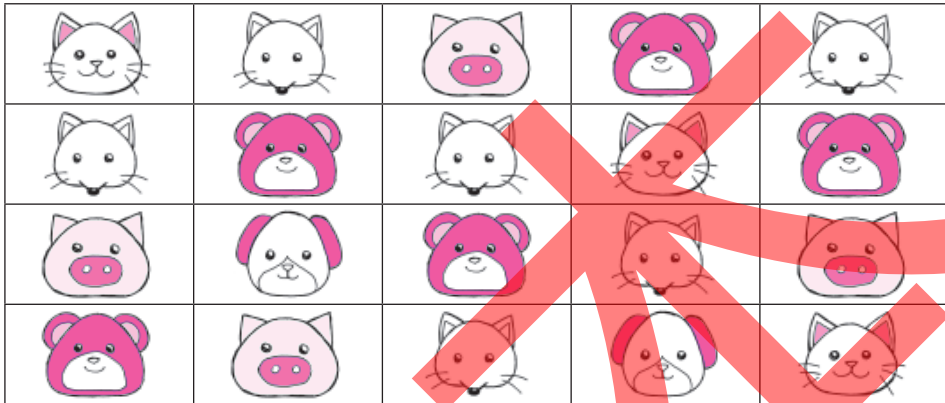
女子

(12)

空気

どうぶつしらべ

どうぶつの 数を しらべました。



1 どうぶつの 数を ひょうに かきましょう。

どうぶつ の 名前	ねこ	ぶた	いぬ	きつね	くま
数(ひき)					

2 右の グラフの マス目に

● を かき入れましょう。

3 いちばん 多かった どうぶつは どれですか。

どうぶつの 数

ね	ぶ	い	き	く
こ	た	ぬ	つ	ま
			ね	

ことばさがし

<さがしかた>

- 下の ことばが ひょうの 中に かくれています。
- たて、よこ、ななめに、まっすぐ ならんでいます。
- 下から 上に 読んだり、右から 左に 読んだり する場あいもあります。
- 同じ 字を つかう ことも あります。
- かくれている ことばを すきな 色で ぬりましょう。
- つかわなかった 字を ならべかえると また ことばができます。

<かくれている ことば>

アゲハ アリ カマキリ カナブン
カブト ハチ コオロギ トンボ



ア	ト	ブ	カ	デ
ゲ	カ	ン	コ	リ
ハ	チ	オ	ボ	キ
ム	ロ	ア	リ	マ
ギ	ン	ブ	ナ	カ



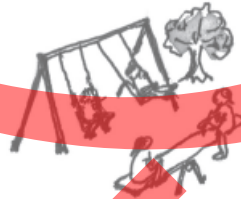
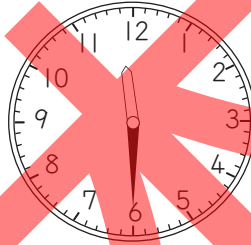
つかわなかった 字を ならべかえて できる ことば

()



1 ゆうくんは こうえんに 出かけました。とけいを 見て
つぎの もんだいに 答えましょう。

(家を 出た 時こく) (こうえんに ついた 時こく) (家に ついた 時こく)



(1) 家を 出た 時こく

(2) こうえんに ついた 時こく

(3) 家を 出てから こうえんに つくまでの 時間

(4) 家に ついた 時こく

(5) 家に ついた 時こくの 30^{ぶん} 分 あとの 時こく

2 に あてはまる 数を かきましょう。

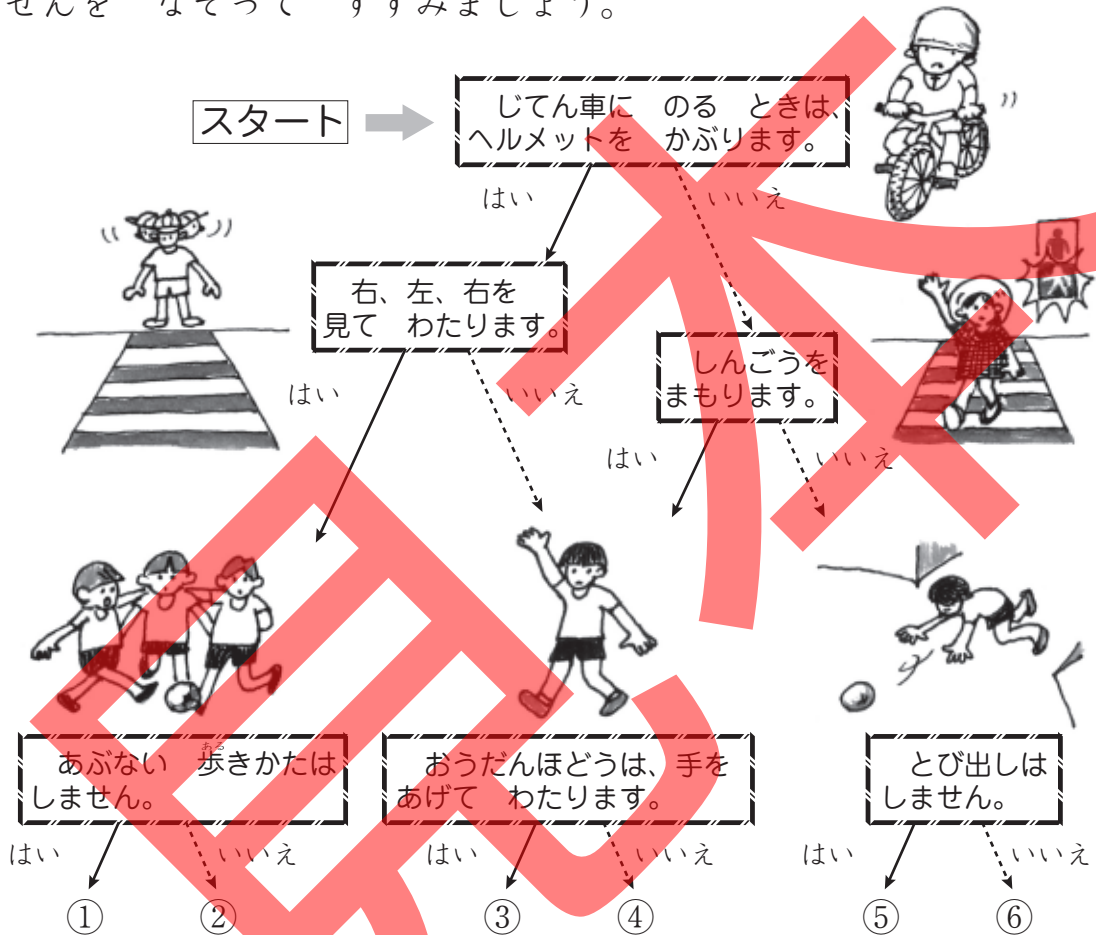
(1) 1時間は 分です。

(2) 1日は 時間です。

(3) 午前^{ぜん}は 時間、午後^ごは 時間です。

きみはだいじょうぶ？

スタートから はじめて、「はい」「いいえ」の やじるして
せんを なぞって すすみましょう。



①	すばらしい！ いつも この ちょうしで こうつうルールを まもろうね。
②	こうつうルールを まもって いるね。でも、車は こわいので ゆだんを しないでね。
③	だいたい いいね。じぶんの 目で 車が こないか たしかめてね。
④	歩いて いる ときも ゆだんを しない。どうろを わたる ときは とくに ちゅうい。
⑤	しんごうは かならず まもろう。青しんごうでも 気を つけて わたろう。
⑥	しんぱいだね。気を つけないと 車と ぶつかっちゃうぞ。



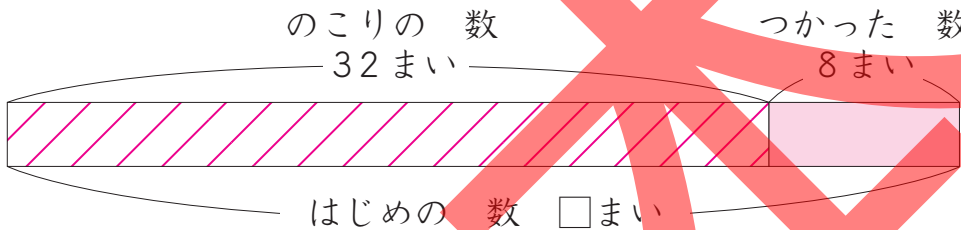
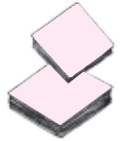
+
?
-

たし算かな ひき算かな

+
?
-



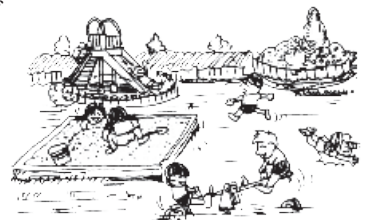
- 1 色がみを 何まいか もって いました。そのうち 8まい
 つかったので のこりは 32まいに になりました。
 はじめは 何まい あったでしょう。



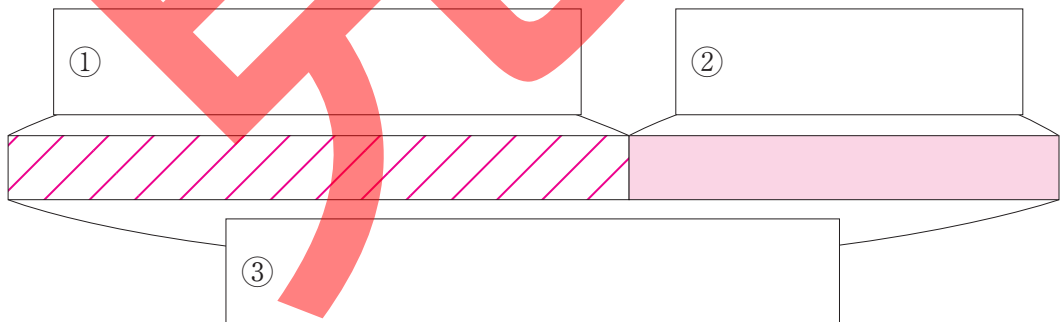
(しき)

答え

- 2 こうえんで、子どもが 17人 あそんで
 いました。そこへ 友だちが 来たので、
 みんなで 24人に になりました。
 あとから 何人 来たでしょう。



- (1) 図に かいて 考えましょう。



- (2) 図から しきを たて 答えを もとめましょう。

(しき)

答え

できるかな

プールで、下の えの ような 水あそびを してみましょう。
できたら、に すきな 色を ぬりましょう。

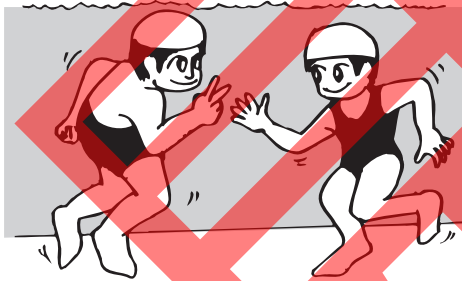
 大の字うき



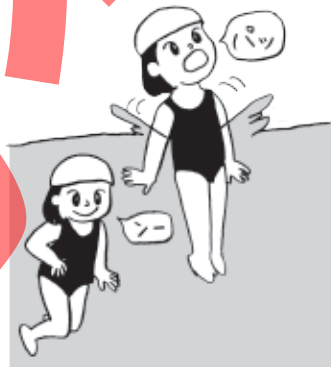
 だるまうき



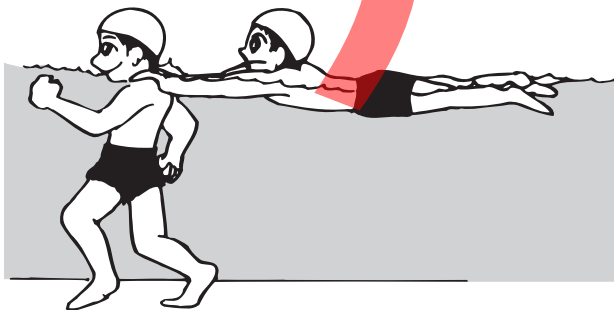
 水中じゃんけん



 水中ジャンプ
(手で 水を かいて とび出して
口で パッと いきを する)



 水中きかん車



 水中トンネル



月 日 よう日

本を読もう



長い なつ休みは、本を 読む よい とき
かいです。読書は、心の えいようと 言わ
れます。みなさんの からだが、たくさん
食べる ことで 大きく なるように、たく
さん 本を 読めば、それだけ 心が ゆた
かになるからです。

学校の 図書室や ちかくの 図書かん
出かけて、じぶんが 気に入った 本を
かりて、読んで みましよう。気に入った
本が 見つからない ときは、友だちや お
にいさん おねえさんに 聞いて みるのも
よいですね。

☆ 二年生に おすすめの本

○「ごめんね でてこい」(文研出版)
ささき みお 作・え

○「おとうさん・パパ・おとうちゃん」(鈴木出版)
みやにしたつや 作・え

○「きかんしゃ やえもん」(岩波書店)
あがわ ひろゆき 文

おかべ ふゆひこ 文

○「おつきよちゃんと かつぱ」(福音館書店)
はせがわ せつこ 文
ふりや ななえ

月 日 よう日

わたしのすけめる本

☆ 心に のこって いる ところを えと 文で かきましょう。
(りゅうも かきましょう。)

本の名前



月 日 よう日

かたかなでかろ

一 つぎの ひらがなを かたかなに なお
して 書きましょう。

(1) こう ひい

(2) りゅつ くさつく

(3) ちゅうりつぷ

(4) えじそん

(5) て えぶる

(6) ほっとけえき



ことばのきまり P10
「かたかなで書くことば」
チャレンジしてみよう。



二 () の ことばを たくさん あつめ

て、
□ の 中に かたかなで 書きましょ
う。

(1) (どうぶつ

鳴き^{なごえ}声)



(2) (ものの 音)



(3)

(外国からきたことば)



(4)

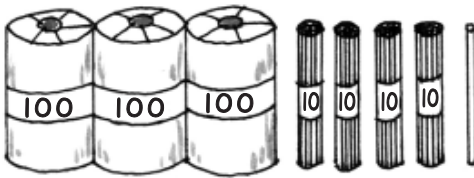
(外国の 国名・地名)



100をこえる数 (1)

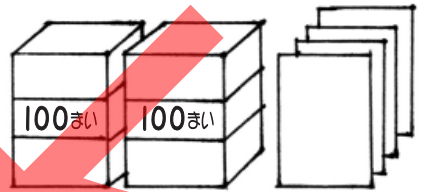
1 ぜんぶで いくつでしょう。

(1)



本

(2)



まい

2 つぎの 数を かきましょう。

(1) 10を 38こ あつめた 数。

(2) 999の つぎの 数。

3 に あてはまる 数を かきましょう。

(1) 500-600--800--1000

(2) 975-980--990-995-

(3) 1000--998-997--995

4 2つの 数を くらべて、>か <を つかって しきに かきましょう。

(1) 215 207

(2) 780 782

おおきなかぶを
つか

一 お手本を見て、れんしゅうをしましょう。

二 えに あう ように 点(・)をつけ
ましょう。

・ ここではきものをぬいでください。



三 つぎの文に 丸(○)をつけましょう。

きのう、友だちと こうえんに 行きま
した たくさん あそんだ あと、おべんと
うを たべました とても
おいしかったです かえる
とちゅうで えりちゃんが、
「また いっしょに 行きたいね」
と、言っていました



四 つぎの文に かぎ(「」)をつけま
しょう。

一年生が、おおきなかぶの 音読を
していました。わたしが、
大きな声で 読めたね。
と 言う、一年生は、
ありがとう。

と うれしそうに 答えました。

月 日 よう日



えを 見て、^{かいわ}会話を つかった お話を
書きましょう。会話は、かぎ（「」）を

つけて、^{ぎょう}行を かえて 書きましょう。

〈れい〉

あら、
じしんかしら。

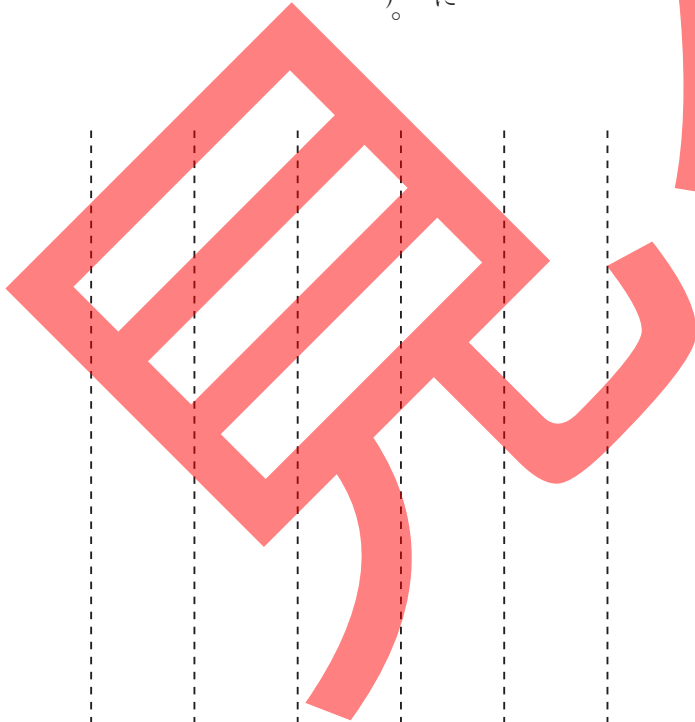


だれが
言ったか
分かるように
書きましょう。

○日よう日に、ひるごはんを たべて
いるときに、

「あら、じしんかしら。」

と、おかあさんが 言いました。



がんばってね。



ともだち

月 日 よう日

エ ス デ ィ ー ジ ー ズ



SDGs (エス・ディー・ジーズ) という ことばを しっていますか？

SDGs とは

「じぞく かのうな かいはつ 目ひょう」

の ことです。みんなが ずっと 地きゅうで くらして いく
ことが できるように 17この 目ひょうが あります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

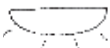


つぎの ことを 家で やって みよう。できたら ○に 色を
ぬろう。

○ のこさず たべよう。 ○ 水を 大せつに つかおう。

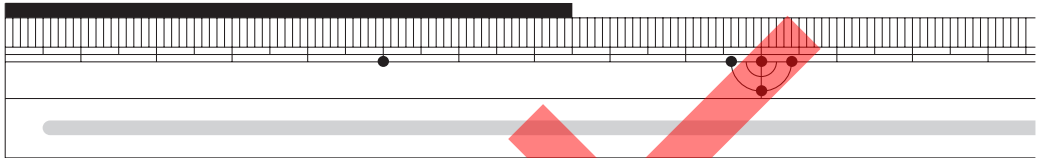


○ つかわない ときは でん気を けそう。





1 下の 線の ^{なが}長さは 何cm何mmですか。



cm mm

2 つぎの 線の ^{なが}長さを はかりましょう。



3 に あてはまる 数を かきましょう。

(1) 5 cm = mm

(2) 80 mm = cm

(3) 3 cm 1 mm = mm

(4) 19 mm = cm mm

(5) 4 cm 2 mm + 2 cm = cm mm

(6) 8 cm 5 mm - 2 cm = cm mm

(7) 4 cm 3 mm + 7 mm = cm

(8) 7 cm 6 mm - 6 mm = cm



やさいの花をしらべよう

ナスには、むらさき色の かわいい 花が さきます。オクラには、黄色の きれいな 花が さきます。

やさいの 花は、その しゅるいに よって かたちや 色がちがいます。

やさいの 花を かんさつ したり、~~図~~^ずかんなどで しらべたりして、かたちを よく 見て かいて みましょう。かけたら色も ぬりましょう。

(ナ ス)	()
	
()	()

計算しましゅう

1 くり上がり、くり下がりに 気をつけて 計算しましょう。

(1) $4 + 7$

(2) $9 + 4$

(3) $8 + 2$

(4) $12 - 7$

(5) $15 - 9$

(6) $15 - 6$

(7) $5 + 6 + 3$

(8) $10 - 8 - 1$

(9) $10 - 3 + 6$

2 くらいに 気をつけて 計算しましょう。

(1) $45 + 5$

(2) $73 + 20$

(3) $60 + 80$

(4) $700 + 300$

(5) $69 - 8$

(6) $82 - 70$

(7) $120 - 50$

(8) $900 - 400$

てんぐにかしたうで

※1 ふたがわ 二川の 大岩寺に、たいそう 字の うま

日 い おしようにさんが いた。

よう 「よめに いった おすめに、手紙を 書い
てくださらんか。」

「ああ、いいとも。」

日 「せがれに 字を おしえてくだされ。」

「ああ、いいとも。」

月 たのまれると ことわれない。なんでも
引きうける。だから、お寺には いつも 村
の 人が たずねてくる。

あるばん、ゆめの 中に てんぐが あら
われた。そして、おしようにさんの うでを
ぎゅつと つかんで 言った。

「秋葉の 山から 来た。正月の 間だけ、
字の 上手な おまえの うでを かして
くれ。」

「ああ、いいとも。」

ついつい、言ってしまった。へんな ゆめ
だと とびおきて、ゆびを うごかしてみた
が、ちゃんと うごく。うでを ぐぐつと
まげてみた。なんとも ない。

おしようにさんは ほつと して、また ね
むってしまった。

そして、そのまま わすれてしまった。

※2 しょうがつふつか 正月二日、書きぞめの 日だ。

「明けておめでとうございませう。」

村の 子どもたちが あつまってきた。

「おう おう。みんな 元気だな。おめでとう。」

さあ、お手本を 書いてあげよう。」

おしようにさんは、ふでを もった。ところが、
いつものように うまく 書けない。正月と
書くと、※2 おとそで よっぱらったような 字
になっちゃった。

「こりゃ、いかな。もう 一まい。」

なんまい 書きなおしても、うでが 思う

ように うごかない。

「あつ。」

あの へんな ゆめを 思い出した。

(あの時、てんぐに うでを かしてやるっ

て 言ったんだ。あれは、このことだったのか。)

そう 思うと、からだが、ぞくつと して、

あせが じわっと 出た。おしろうさんは、

少し ふるえる 声で 言った。

「きようは、お手本 なしじゃ。のびのびと

書いて ごらん。」

「うん うん、みんな うまい。わしより

ずっと 上手じゃ。」

子どもたちは、なんだか

へんだと 思ったが、おし

ようさんに ほめられて、

よろこんで 帰っていった。

その夜、ゆめの 中に

てんぐが また あらわれ



た。

「おしろう、うでを かえしに きた。おま

えの うでのおかげで、わしは 書きぞ

めで 一番に なったぞ。」

てんぐは、高い はなを ぴくぴくさせな

がら、赤い顔を ますます 赤くして 言った。

「おれいに、これから ずっと、おまえの

書いたものは まもってやる。」

それから 何十年も たって、村で 大火

事が あつた。

寺も すっかり やけてしまったが、おし

ようさんが 書いた 寺の がくだけは、も

えなかったということだ。

※1 二川の大岩寺：豊橋市大岩町にあるお寺

※2 おとそ：新年にのお酒

※3 がく：書いたものなどを入れて、かべなどにかけておくもの

(おはなし あいちのでんせつ 『てんぐに かした うで』 愛知県教育振興会より)

読みましたサイン



かん字を書こう

一 つぎの (1) (3) に かんけいのある

ことばを かん字で 書きましょう。

(1) からだに かんけいのある ことば

あたま あし て め

(1) (2) (3) (4)

(2) 色を あらわす ことば

あお あか しろ き

(1) (2) (3) (4)

(3) うごきを あらわす ことば

よ き は な

(1) (2) (3)

む く す

二 つぎの ことばを かん字で 書きましょう。

(1) (2)

いえ い に く つく

(3) (4)

こた え て を お ろす

(5) (6)

まる い い し ひ か

(7) (8)

あ か る い た か や ま

(9) (10) (11)

おも う よる か ぜ

計算ぬり絵

つぎの 計算を して、下の えの 答えの ところを きめられた 色で ぬりましょう。正しく ぬると、たべものが うかび 上がって くるよ。

(赤 色)

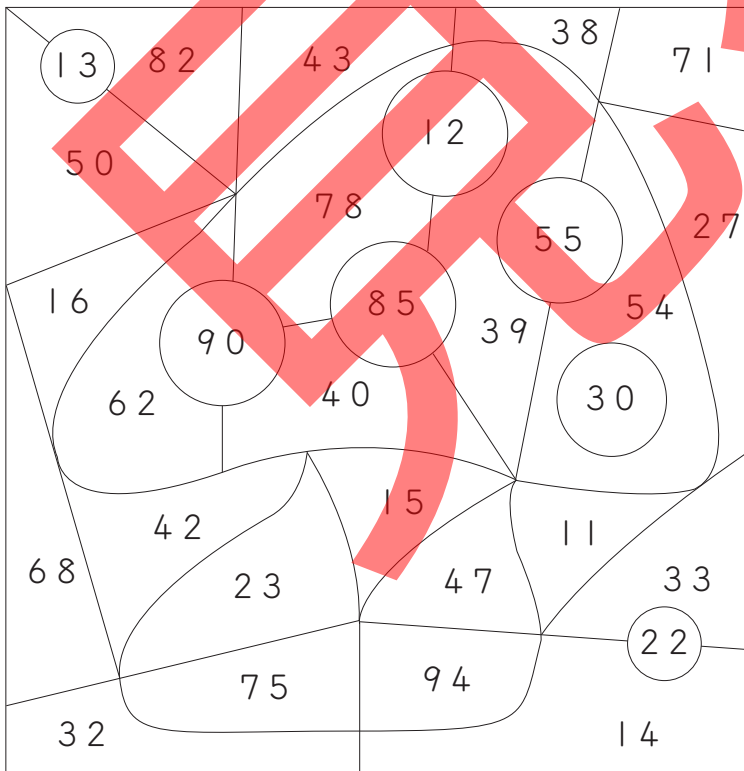
- $55 + 7$
- $33 + 6$
- $72 + 6$
- $58 - 4$
- $43 - 3$

(青 色)

- $23 + 7$
- $84 + 6$
- $20 - 8$
- $92 - 7$
- $60 - 5$

(黄 色)

- $17 + 6$
- $87 + 7$
- $22 - 7$
- $56 - 9$
- $81 - 6$



答え

できるかな？

1 つぎの 計算を しましょう。

(1) $13 + 7$

(2) $49 + 1$

(3) $52 + 8$

(4) $60 - 5$

(5) $20 - 6$

(6) $93 - 80$

(7) $19 + 7$

(8) $36 + 8$

(9) $57 + 30$

(10) $21 - 3$

(11) $84 - 4$

(12) $95 - 6$

(13) $7 + 4 + 6$

(14) $5 - 2 + 8$

2 あめを 17こ もって います。
8こ たべると 何こに なりますか。

(しき)



答え

3 赤い あさがおの 花が 13こ、
白い あさがおの 花は 7こ
さいて います。

赤い あさがおの 花の ほうが
白い あさがおの 花より 何こ
多いですか。

(しき)



答え

まっ白になつたおじぞうさま

大須^{おおす}の ある おてらに、白い紙をはられたまっ白い おじぞうさまが おかれてあります。びょう気を なおして もらおうと、紙をはって おまいりするのです。

その むかし、⁽¹⁾ おとこと その むすめが すんでいました。あるとき、むすめのおなかに できものが できました。くすりに なる くさを とってきて、そのしるを ぬつても、ちつとも よく なりません。

それを ⁽²⁾ きいた 和尚^{おしょう}さんは、おじぞうさまに 手を合せて いっしょうけんめい いのりました。すると、あるよる、和尚^{おしょう}さんの ゆめにおじぞうさまが あらわれて 言いました。

「むすめの わるい ところに まっ白い 紙を あて、それを わたしの からだに はりなさい。そして、いっしんに いのりなさい。」

和尚^{おしょう}さんは さつそく 二人に つたえました。⁽³⁾ なんにちかして むすめの できものは きえました。

それから、⁽⁴⁾ おおくの 人たちが おまいりするようになり、おじぞうさまは、からだじゅうが まっ白になつてしまったという ことです。

(おはなし あいちのでんせつ 2



『大蛇の おんがえし』

愛知県教育振興会より

一 線(1)〜(4)の ことばを かん字で 書きましょう。おくりがなも 書きましょう。

(1)

(2)

(3)

(4)

二 むすめは どんな びょう気に なつたでしょう。

三 和尚^{おしょう}さんの ゆめに あらわれたのは、だれでしょう。

四 おじぞうさまの からだが 白いのは、なぜでしょう。

月 日 よう日

生きもの大すき

はたけや のはら、川や いけなどには、いろいろな 生きもの
の が います。これらの 生きものを 見つけて えを かきま
しょう。また、色も ぬりましょう。

※川や いけには、おうちの 人と いっしょに 行きましょう。

※すずしい 時間に 行きましょう。



生きものの 名前

生きものの いた ばしょ

生きものの え



NHK for School
おばけの学校たんけんたん
「かくれた生きものをさがそう」
を見てみよう。



100をこえる数 (2)

1 数字で かきましょう。

(1) 四百七十三

(2) 八百二十

(3) 六百四

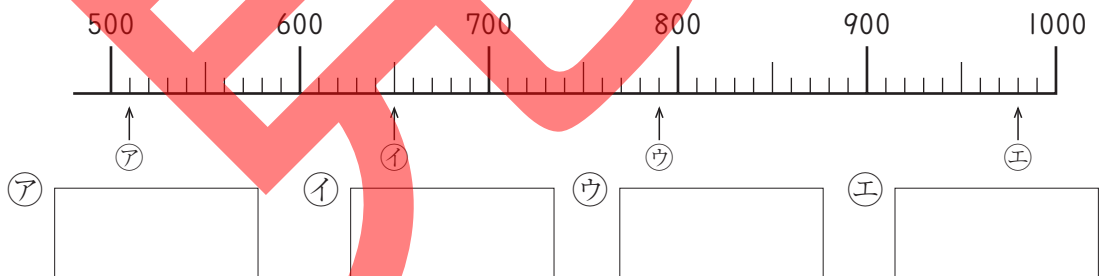
2 □に あてはまる 数を かきましょう。

(1) 257は 100を □に、10を □に、1を □に
あわせた 数です。

(2) 100を 10に あつめた 数は □です。

(3) 320は 10を □に あつめた 数です。

3 ㊦～㊨に あたる 数を かきましょう。



4 あと いくつで 1000に なりますか。

(1) 980

(2) 995

(3) 600

かん字を読みましよう

一 にていゝるところのあるかん字です。

線の読みを書きましよう。

(1) 間 聞

休みの間
話を聞く。

(2) 数 教

ボールの数
教えてもらう。

(3) 白 自

白い犬
自分のかお

(4) 話 読

話を聞く。
本を読む。

二 読み方のちがうおなじかん字です。

線の読みを書きましよう。

(1)

小さい
おうち
小犬が
あそぶ。
小学二年生

(2)

夏休み
休日

(3)

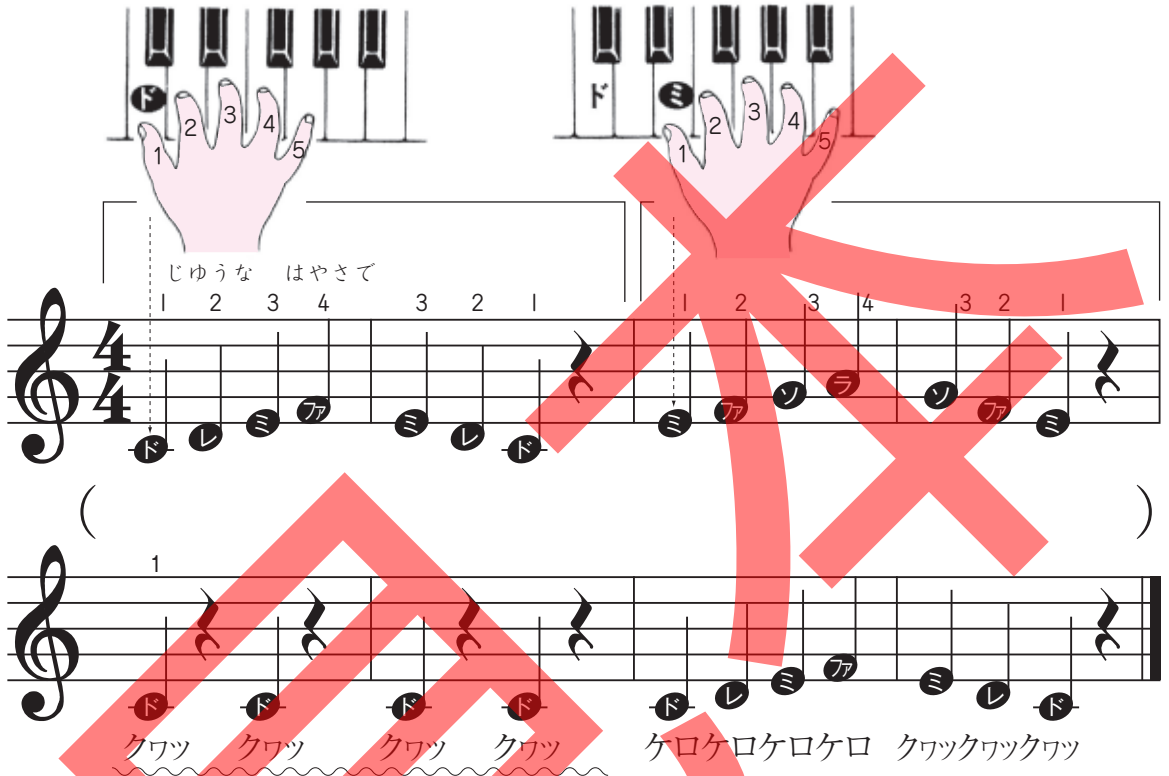
元気な
子ども
火の元

(4)

親しい
人
親子

かるがらしよう

おかもととしあき
岡本敏明 作詞／ドイツ民謡



じゆうな はやさで
1 2 3 4 3 2 1

()

1
クワツ クワツ クワツ クワツ ケロケロケロケロ クワツクワツクワツ

日本音楽著作権協会（出） 許諾第0605528-521号

- 1 1だん目に あてはまる かしを()に 書いて うたいましょう。
- 2 ドレミで うたいましょう。
- 3 けんばんハーモニカで、下の 3つの ことに 気を つけながら えんそうしましょう。できたら ☐ に ◎をかきましょう。
 - (1) とちゅうで とまらずに さいごまで ひくことができた。 ☐
 - (2) ゆびの いどうが 正しく できた。 ☐
 - (3) 〰の お休み(ゝ)に 気を つけて ひくことができた。 ☐



一 つぎの かん字の
書きましょう。

画数を
数字で
書

二 ふとい 線の
でしよう。 □ に 数字を
書きましょう。 何画目に 書く



(9) 組 □ 画	(7) 高 □ 画	(5) 考 □ 画	(3) 外 □ 画	(1) 声 □ 画
(10) 親 □ 画	(8) 原 □ 画	(6) 黄 □ 画	(4) 書 □ 画	(2) 国 □ 画

(9) 上 □ 画目	(7) 何 □ 画目	(5) 点 □ 画目	(3) 毛 □ 画目	(1) 友 □ 画目
(10) 科 □ 画目	(8) 方 □ 画目	(6) 当 □ 画目	(4) 回 □ 画目	(2) 丸 □ 画目

せ
わ
を
し
て
い
る

みなさんが 家や 学校で せわを している
生きものや くさ花の ようすを えと 文で
かきましよう。 色も ぬりましよう。



ひっ算のおけいこ 1

1 つぎの ひっ算を しましょう。

(1)

	5	3
+	1	2

(2)

	2	1
+		7

(3)

		2
+	9	7

(4)

	3	5
+	5	2

(5)

	8	7
-	7	3

(6)

	3	8
-		6

(7)

	9	5
-	5	0

(8)

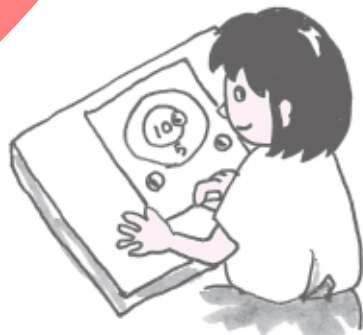
	4	2
-	2	2

2 なつこさんは おはじきゲームで、さいしょに 43点、つぎに 52点 とりました。

あわせて 何点 とったでしょう。

(しき)

ひっ算



答え

月 日 よう日

よう日	よう日	よう日
よう日	よう日	よう日
		よう日

二 よう日を あらわす かん字を 書きま
しょう。

う え した み ぎ ひだり

書きましよう。

一 むきを あらわす ことばを かん字で



三 教科を かん字で 書きましよう。

(5)	(3)	(1)		(3)	(1)
				がく	
				(4)	(2)
(6)	(4)	(2)		かつ	

四 の 中の かん字の いちぶを つか
って かん字を 書きましよう。

ことばの広場

ひろば

一 (一) にあう ことばを

えらんで 書きましょう。

手ぶくろ くつ ゆかた ぼうし

(1) (一) を かぶる。

(2) (一) を きる。

(3) (一) を はく。

(4) (一) を はめる。

二 上の ことばと 下の ことばを 線で

むすびましょう。

はさみ ・ ほる

シャベル ・ くむ

かなづち ・ たたく

バケツ ・ きる

三 つぎの 文に あう ことばを、○で かこみましょう。

(1) さかなが すいすい
よちよち およぐ。

(2) こまが くるくる
そよそよ まわる。

(3) 川の水が つるつる
さらさら と ながれる。

四 正しい ほうを ○で かこみましょう。

(1) ひよこが ぴよぴよ
ピヨピヨ なく。

(2) ほしが きらきら
キラキラ ひかっている。

月 日 よう日

えにつきをかう

なつ休みに 楽しかった ことを 思い
出して かきましよう。

だ い

月

日

よう日

天気（

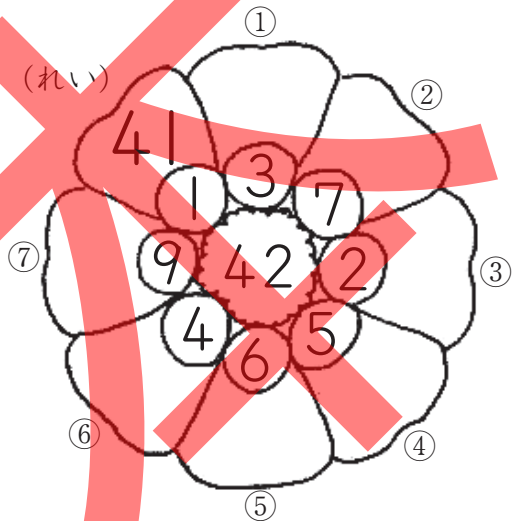
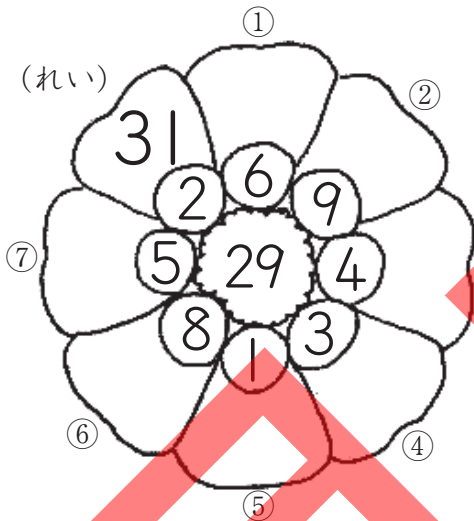
）



数はいくつ

1 つぎの 計算を しましょう。

- (1) まん中の 数に ^{そと}外がわの (2) まん中の 数から ^{そと}外がわの
数を たしましょう。 数を ひきましょう。



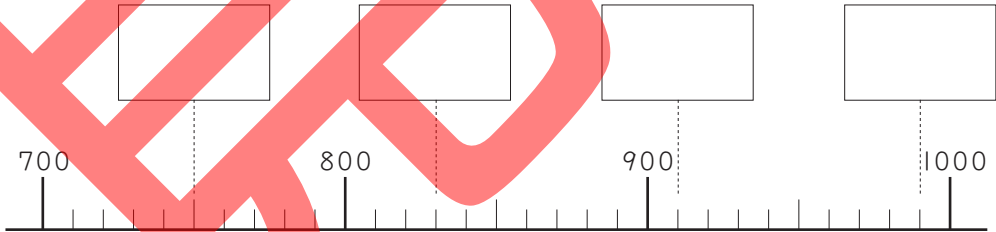
2 に あたる 数は なんでしょう。

(1)

(2)

(3)

(4)



3 つぎの ひっ算で、 で かかれて いる 数字を の
中に かきましょう。

(1)

3 2

(2)

5 4

(3)



3

+



4

+

2



-

4

5

7 6

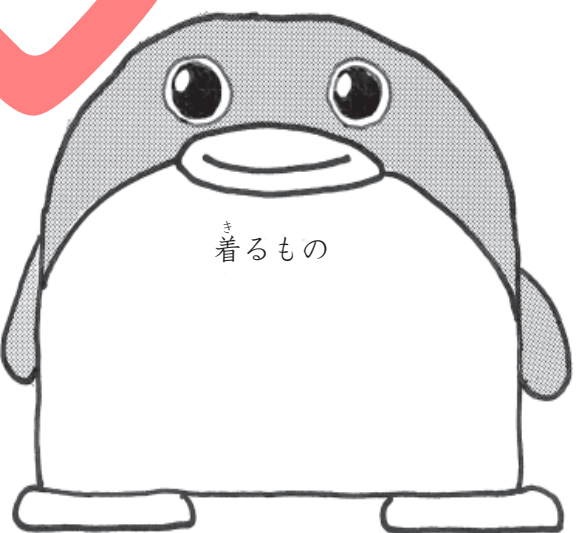
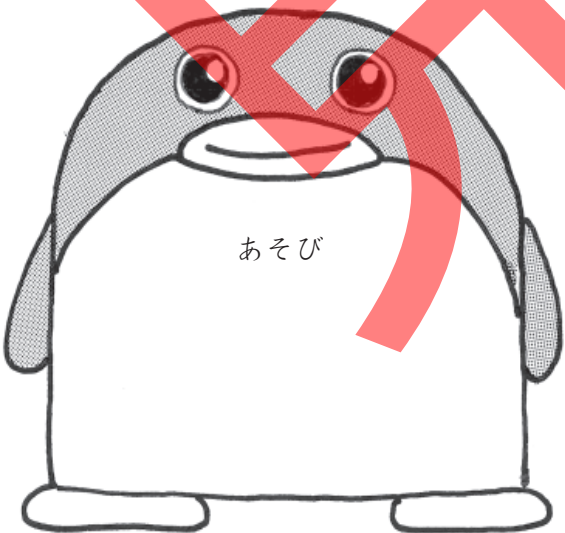
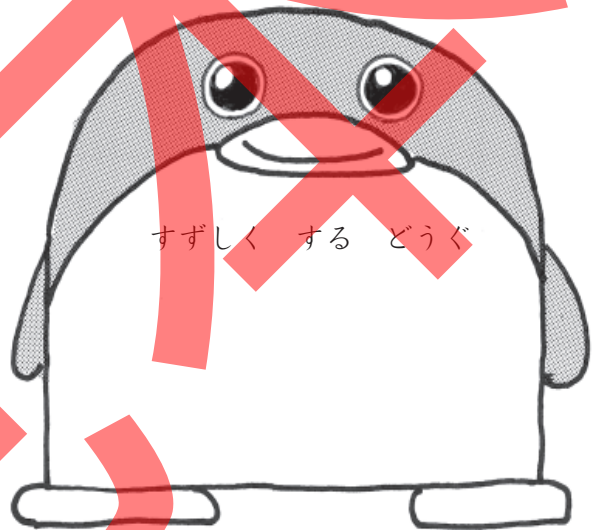
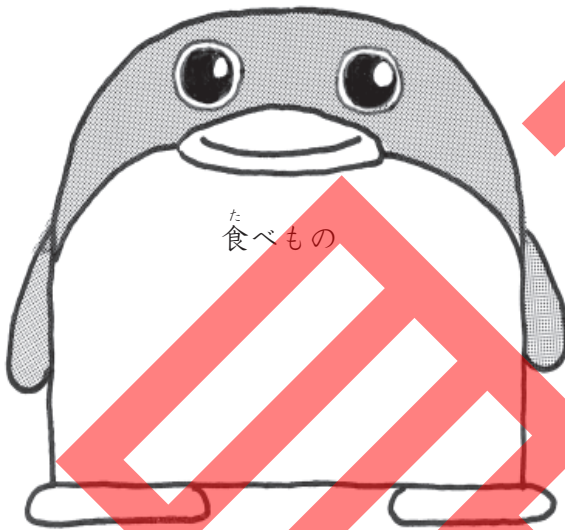
8 0

2 8

- 3 7 -

なつをすこしやすく

まだまだ あつい 日が つづきますね。あつい なつを すこし やすく くらす ために、みなさんの まわりでは どんな くふうを して いますか。見つけて、ペンギン  の 中に え や ことばで かいて みましょう。





一つぎの えは、すべて がつきです。
 がつきの 名前を かたかなで 書きま
 しょう。









二 えの かき方を せつめい します。()
 の 中に入ることばを の 中から
 えらび、 に えも かきましよう。

(1) ()、ねこの かおの えを かきます。
 ()、かおの かたちをか

きます。大きな 丸を かきます。
 (2) ()、耳を かきます。丸の

上の 方の 右はしと 左はしに、小さな
 三かくを かきます。

(3) ()、はなと ひげを かき
 ます。丸の まん中に、小さな 三かくを

下むきに かきます。三かくの 右と 左
 に 三本の よこの 線を かきます。

(4) ()、目を かきます。小さ
 な 三かくの 上に 黒い 丸を 二つ

ならべて かきます。これで、できあがり
 です。

それから さいごに
 まず かし
 つぎに また

〈ねこのかお〉

なつの やさい

なつには いろいろな やさいが できます。

なつに できる やさいを たべると からだを ひやしたり
からだを 元気に してくれたり します。

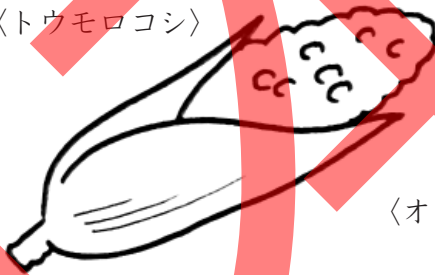
下の やさいは、なつに できる やさいです。

なつ休みに たべた やさいや、そだてた ことの ある や
さいに 色を ぬりましょう。

〈トマト・ミニトマト〉



〈トウモロコシ〉



〈オクラ〉



〈キュウリ〉



〈ピーマン〉



〈ナス〉

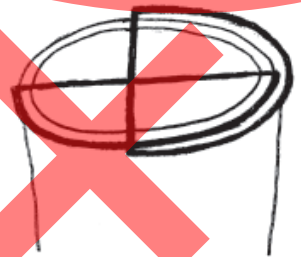


ジャンプガエル

ようい
するもの

紙コップ2こ・画用紙・わゴム2本
はさみ・セロハンテープ・カラーペン・のり

- ① 紙コップの ふちに 4かしょ ② わゴム 2本を こうさ
ちい 小さな きりこみを 入れる。 する ように きりこみに
かける。



- ③ 画用紙で 目や 耳などの
パーツを 作り 紙コップに
はる。



- ④ もう1この 紙コップにも
えを かいたり パーツを
はったり する。



ひっ算のおけいこ2

1 つぎの ひっ算を しましょう。

(1)

	2	3
+	1	9

(2)

	4	7
+	2	9

(3)

	8	0
-	4	5

(4)

	6	5
-		8

2 ほのかさんと さつきさんが
なわとびを しました。

(とんだ ^{かい}回数)

ほのか	37回 ^{かい}
さつき	56回 ^{かい}



(1) あわせて 何回^{かい}
とんだでしょう。

(2) どちらが 何回^{かい}
多く とんだでしょう。

(しき)

(しき)

ひっ算

答え

かい
回

ひっ算

答え

さんが

かい
回多く とんだ。



かっこう

こばやし いちろう 作詞 / ドイツ民謡 / 浦田健次郎 編曲

♩ = 1 | 2 ~ | 2 0

1.2 かっ こう かっ こう し ず か に

{ よ ん で る よ き り の な か
 { な い て る よ も り の な か

ほう ら ほう ら か あ さ ん
 ほう ら ほう ら あ さ だ よ

ゆびの
ばんごう

日本音楽著作権協会 (出) 許諾第0605528-521号

- 1 下の リズムを 手で うちながら うたいましょう。じょうずに
できる ように なったら、おうちの 人に きいて もらいましょう。

1ばん

● ● ●	● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
-------	-------	---------	---------

(くりかえす)

(くりかえす)

2 ばん



(くりかえす)

(くりかえす)

ききました
サイン

10

- 2 ゆびづかいに 気を つけて、けんばんハーモニカで えんそうして
みましよう。

しろ 白い矢

日曜日

むかし むかし、名古屋の東のあたりは、おかがずっとつづく、しずかな村だった。村人は小さな池をつくり、水を大切に

日

ある年、田うえをして、もう十日にもなるのに、雨はひとつもふらなかつた。

月

二十日 たつても、だめだった。イネはかれはじめ、イモのなえは黄色く

なつた。村人たちは、前のききんのことを思い出した。食べるものといえは、木のねっこしかなかった。

村人たちは、おかの上にあつまつて、天のかみさまに雨をふらせてほしいと、おいのり

をはじめた。

三十日 たつても、雨はふらなかつた。

とうとう池の水は、からからになつてしまった。

ちようどその時、みやこの竹内宿禰というかたが、大ぜいの家来をつれて、お通りに

なつた。「これは気のどくなことじゃ。なんとかしてやりたいが……。そうじゃ、よいものがあ

る。」と言つて、一本の白い矢をお出しになつた。

「めずらしい白いタカの羽根で作つた、大切な矢じゃ。これをさづけよう。この矢を、地めんにつまみすぐ立てておいのりすれば、これから水にこまることはないだろう。」

村人は、さっそく 白い 矢を 地めん^{じめん}に 立^た

てて、まわりに あつまり、おいのりをはじめた。

白い 矢が ピクツと うごいた。

矢の まわりの 土が、黒く しめってきた。

みるみるうちに、矢の まわりに、小さい 水たまりが できた。

「み、み、水だ。水だぞう。」

矢の まわりから、こんこんと 水が わきだ

した。みんなは、かたを たたき合^あって よろこ

んだ。

月

水は ひとすじの ながれに なって、はたけ

や 田んぼの 方へ すすんでいく。

村人は、ながれに つれて 走りだした。なが

れの 中を 走る ものも いる。ながれの 中

で、はねる ものも いる。

「おうい。おれの はたけに、水が 来たぞ。」

「うちの 田んぼにも、水が 入ったあ。」

「おとう、うれしいなあ。」

「おかあ、ありがたいのう。」

村人たちは おどりだした。おいおい なきな

がら、おどっている ものも いる。

宿禰は これを 見ると、だまって 立ちさら

れた。村人は、おれいを 言うのも わすれていた。

日が、西の 空に しずみかけた。

おかの 上の 白い 矢が、金色に 光ってい

た。

※いききん：米や野菜が十分にとれず、食^たべることができずに 苦しむこと。

(おはなし あいちのでんせつ 2

『大蛇の おんがえし』 愛知県教育振興会より)

読みましたサイン



算数パズル

かかっている しきや 答えが 正しい マスを、すきな 色でぬろう。正しく ぬると、数字が うかび上がって くるよ。

$8\text{ cm} - 2\text{ cm} = 6\text{ mm}$	$231 > 213$	100を 4こ あつめた 数を 四百と いう	$63 - 6 = 57$	$\begin{array}{r} 68 \\ + 14 \\ \hline 72 \end{array}$
$\begin{array}{r} 35 \\ - 8 \\ \hline 17 \end{array}$	10を 36こ あつめた 数は 360	$64 + 27 = 81$	9時15分の 30分前の 時こくは 9時45分	$7\text{ cm } 8\text{ mm} - 2\text{ cm} = 7\text{ cm } 6\text{ mm}$
$92 - 65 = 37$	1時間 = 60分	$30\text{ mm} = 3\text{ cm}$	$45 + 38 = 83$	1つの よこの 長さは 182cm
はがきの よこの 長さは 10m	$\begin{array}{r} 25 \\ + 67 \\ \hline 82 \end{array}$	$349 > 356$	100を 7こ 10を 2こ 1を 5こ あつめた 数は 725	百十二を 数字で かくと 102
1000は 10を 10こ あつめた 数	7時25分の 1時間あとの 時こくは 8時25分	$100\text{ cm} = 1\text{ m}$	$35 + 19 = 54$	$\begin{array}{r} 60 \\ - 53 \\ \hline 13 \end{array}$

うかび 上がった 数字



がばとむし

よう日

日

月

カブトムシは、コガネムシのなかまで、日本に※いる。こう虫ちゅうの中では、一ばんからだの大きなしゅるいです。オスには、大きなつのがあり、からだぜんたいは(1)茶色ちやで、よろいのようなかたいひふと(2)前羽まへうにつつまれています。

クヌギ林はやしやコナラ林ばやしがカブトムシの生活せいかつの場しよです。なつのよる、せいちゅうはじゅえきをもとめてとんできます。クヌギやコナラのじゅえきがないと、カブトムシのせいちゅうは、生きていけません。

じゅえきには、なんびきものせいちゅうがあつまるので、ときどき二ひきが(3)じゅえきをとりあい、じまんのつのでたたかうことがあります。



※こう虫ちゅう：「よろいをきた虫」といういみです。こう虫のからだは、かたいひふでおおわれていてがんじょうです。

一 (1)と(2)の かん字の 読みを 書きましょう。

ちや

(1) 茶 色

ばね

(2) 前 羽

二 カブトムシは、何の 虫の なかまでですか。

三 カブトムシは どんな 場しよで 生活して いますか。

四 カブトムシの せいちゅうは、じゅえきがないと どうなりますか。

五 カブトムシの オスは、(3)の とき、何を つかって たたかいますか。

★ きそく正しい 生活は できましたか。

よく まもれた

だいたい まもれた

まもれなかった



• 早おき

• 早ね

• 学しゅう

• お手つだい

★ なつ休みの はじめに きめた、生活の
めあてを ふりかえって みましょう。



いよいよ あすから 学校生活が はじま
ります。どきどき わくわくする ことが
たくさん まつています。楽しみですね。
しっかりと がんばりましょう。

★ つくえの まわりを せいとんして、
教科書・ノート・えんぴつなど、学校で
つかう ようぐを そろえて おきましょう。

★ あす、学校へ もって いく ものを
そろえて おきましょう。

★ 今日は、早く ねて、あすは 元気に
学校へ 行きましょう。

うらがえしのくつ下

知立 知立南小・2

くろき ぜんすけ

「ぜんすけ、ちよつと来なさい。」

やばい

これはアレだ

おこられるやつだ

ちつとも行きたくないけど

ママのよぶほうへ早歩き

「またこれ。」

いつもよりひくいママの声

その手には

くるりと丸まったぼくのくつ下

やっちゃった

またうらがえしだ

何とも言われているけれど

いつもうらがえし

どうしたら直せるんだろう

みんなはどうしているのかな

家ぞくに聞いてみた

まずはパパ

「パパもときどきうらがえしにしてママ
におこられるからなあ。」

あはは とわらっているパパ
だめだこりや

つぎはママ

ママと目が合った

せかせかとりよう理をしている

近づいてみたけど

またおこられそうだからやめた

さい後はねえね

「ぜんすけは、くつ下をぬぐときにうら
がえしにしているからだよ。」

あっ そうか

でも 少しでも早くぬぎたいもん

「それにせんたくものをほしたことない
でしょう。ほすときにすぐく大へんな
んだよ。」

いつもそんなに大へんなんだ

ぼくもせんたくものをほしてみよう

家ぞく四人分

山もりのせんたくもの

外はじりじりとあつい

あつさでさらに時間がかる

そこでとう場

ぼくのうらがえしのくつ下

くるりと丸まったくつ下に手を入れる

生ぬるくてびちゃびちゃしている

うらがえすのがむずかしい
めんどくさい

なんだかなさけなくて
はあ とためいきが出た

そうか

ママはいつもこんな気もちだったんだ

せんたくものをほしおわると

ママが見まもっていてくれた

「いつも大へんだったんだね。」

ありがとう。」

そうつたえると

ママはえがおになった

「少しの思いやりがあればできることだ
よ。」

ママのことはを聞いて

うらがえしにぬぐことをやめた

ペランダには

びんどのびたぼくのくつ下

風にのつて気もちよさそうにゆらゆら

ママのはな歌が聞こえる

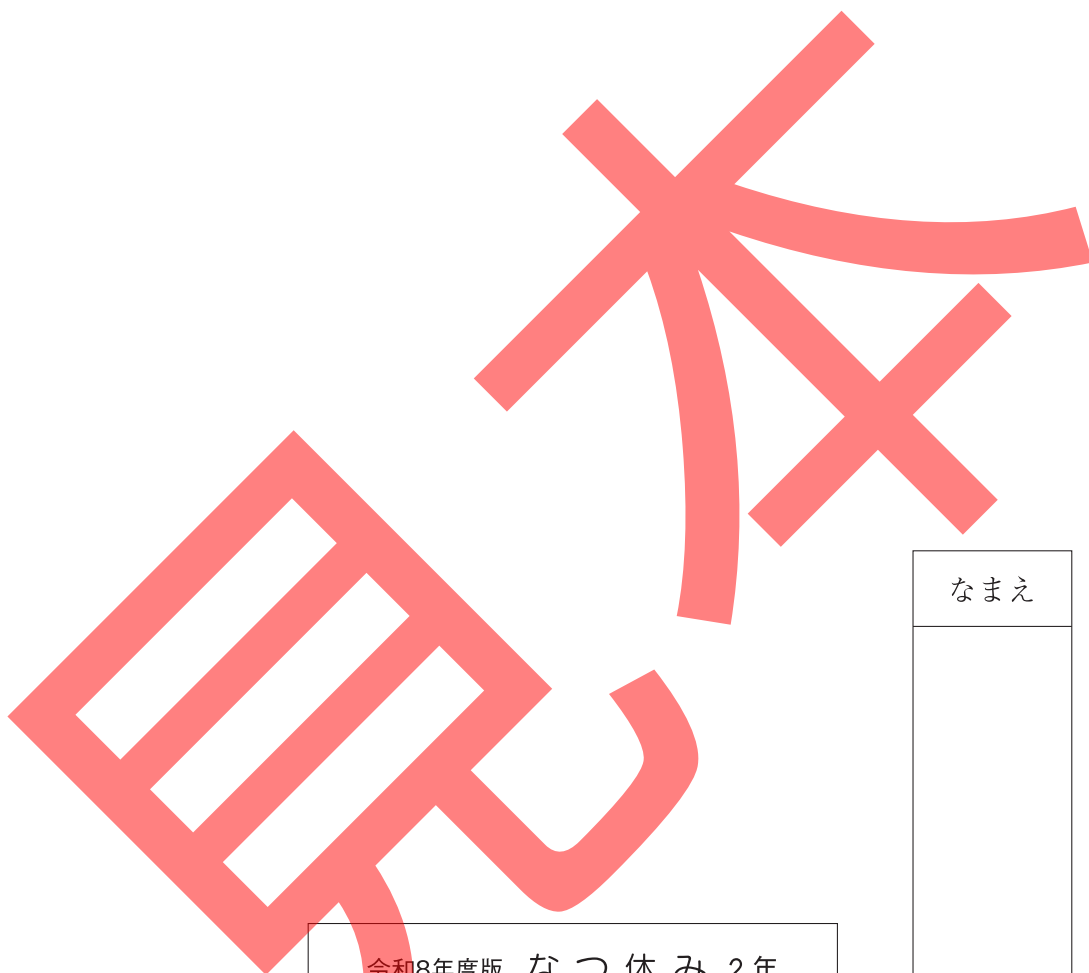
なんだかぼくもいい気分

家ぞくの間でも

思いやりが大切だって

うらがえしのくつ下が教えてくれた





なまえ

令和8年度版 なつ休み 2年

編集 「夏休み日誌」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人
愛知教育文化振興会
〒444-0868
岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 (0564) 51-4819

印刷 株式会社 岡田印刷

※無断で複写・複製することを禁じます。
※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。